

## 四字熟語クイズ 全30問

Q1. 「一石二鳥」の意味は？

- ① 石を二回投げること
- ② 一つのことと二つの得をすること
- ③ 鳥が石を食べること

ヒント:石を1つ投げて、鳥が2羽…という言葉です。

答え:② 一つのことと二つの得をすること  
一つの行いで、同時に二つの利益を得ること。もとは1つの石で2羽の鳥を落とす、という意味です。

Q2. 「十人十色」の意味は？

- ① 人によって好みや考えがそれぞれ違うこと
- ② 10人で10色の絵を描くこと
- ③ 10回色をぬること

ヒント:「いろいろな人がいるね」という意味です。

答え:① 人によって好みや考えがそれぞれ違うこと  
人それぞれ好みや考え方が違うこと。「じゅうにんといろ」と読みます。

Q3. 「七転八起」の読み方として正しいのは？

- ① しちてんはつき
- ② ななてんやおき
- ③ しちころびはちおき

ヒント:「ななころびやおき」とも読みます。

答え:① しちてんはつき 「しちてんはつき」。何度失敗しても、くじけず立ち上がることのたとえです。

Q4. 「一期一会」の意味は？

- ① 一年に一度しか会わないこと
- ② 一生に一度の出会いを大切にすること
- ③ 一度に一個ずつ食べる

ヒント:茶道の心としても知られる言葉です。

答え:② 一生に一度の出会いを大切にすること  
一生に一度かもしれない出会いを大切にすること、という茶道から生まれた言葉です。

Q5. 「自業自得」の意味は？

- ① 自分の行いの結果を自分で受けること
- ② 自分で仕事を作り出すこと
- ③ 自分だけが得をすること

ヒント:よい意味でも悪い意味でも使えますが、多くは…。

答え:① 自分の行いの結果を自分で受けること  
自分の行いの報いを、自分自身が受けること。多くは悪い結果について使われます。

Q6. 「以心伝心」の意味は?

- ① 手紙で気持ちを伝えること
- ② 言葉にしなくても心が通じ合うこと
- ③ 心臓の音が伝わること

ヒント:「言わなくても分かる」関係のことです。

答え:② 言葉にしなくても心が通じ合うこと

言葉に出さなくても、互いの心が自然に通じ合うこと。もとは仏教の言葉です。

Q7. 「春夏秋冬」が表すものは?

- ① 四つの季節(一年)
- ② 四人の兄弟
- ③ 四種類の花

ヒント:そのまま読むと、季節が並んでいます。

答え:① 四つの季節(一年) 春・夏・秋・冬の四つの季節、つまり一年を通じての移り変わりを表します。

Q8. 「花鳥風月」が表すのは?

- ① お祭りにぎわい
- ② 自然の美しい風景や風流
- ③ 四つの動物

ヒント:花・鳥・風・月…自然の美しいものが並びます。

答え:② 自然の美しい風景や風流

花や鳥、風や月といった自然の美しい風景、またそれを楽しむ風流な心を表します。

Q9. 「起承転結」とは、おもに何の順序のこと?

- ① 料理を作る順番
- ② 文章や物語の組み立ての順序
- ③ ラジオ体操の動き

ヒント:作文や物語の「組み立て方」です。

答え:② 文章や物語の組み立ての順序

文章や物語の組み立て方の順序。話を起こし、受け、転じ、まとめる流れを指します。

Q10. 「一日一善」の意味は?

- ① 一日に一回だけ食事をする
- ② 毎日一つ、よい行いをする
- ③ 一日で千円ためる

ヒント:「善」は「よい行い」のことです。

答え:② 毎日一つ、よい行いをする

毎日一つ、人のためになるよい行いをしようという、心がけを表す言葉です。

Q11. 「温故知新」の意味は?

- ① 古いことを学び、新しい知識や見方を得ること
- ② 温かいお茶で体を温めること
- ③ 新しい物だけを大事にすること

ヒント:「故(ふる)きを温(たず)ね、新しきを知る」と読み下します。

答え:① 古いことを学び、新しい知識や見方を得ること

昔のことをよく学び直し、そこから新しい知恵や見方を見つけ出すこと。

Q12. 「半信半疑」の意味は？

- ① 半分は本当、半分はうそを言うこと
- ② 半分信じ、半分は疑う迷う気持ち
- ③ 信号を半分だけ守ること

ヒント:「信じる」と「疑う」が半分ずつです。

答え:② 半分信じ、半分は疑う迷う気持ち  
半分は信じ、半分は疑っている、どちらとも決めかねる気持ちのことです。

Q13. 「異口同音」の意味は？

- ① 大勢が口をそろえて同じことを言うこと
- ② 音痴な人が集まること
- ③ 違う言葉を同時に言うこと

ヒント:「みんなが同じことを言う」様子です。

答え:① 大勢が口をそろえて同じことを言うこと  
多くの人、口をそろえて同じことを言うこと。「いくどうおん」と読みます。

Q14. 「大器晩成」の意味は？

- ① 大きな器は割れやすいこと
- ② 大人物は時間をかけ、遅れて力を発揮すること
- ③ 晩ごはんの器が大きいこと

ヒント:「晩(おそ)く成る」がヒントです。

答え:② 大人物は時間をかけ、遅れて力を発揮すること  
大人物ほど才能が開くのが遅い、という励ましの言葉。大きな器ほど作るのに時間がかかることから。

Q15. 「油断大敵」の意味は？

- ① 油を切らすと困るということ
- ② 気のゆるみこそ一番の敵だということ
- ③ 敵が油を持っていること

ヒント:「油断」=気のゆるみ、です。

答え:② 気のゆるみこそ一番の敵だということ  
ちょっとした気のゆるみが大きな失敗を招く、油断こそ最大の敵だという戒めの言葉です。

Q16. 「千客万来」の意味は？

- ① 千人の客が一度に帰ること
- ② 多くの客が次々にやって来て、にぎわうこと
- ③ 客が千円だけ使うこと

ヒント:お店にとっては、とてもうれしい言葉です。

答え:② 多くの客が次々にやって来て、にぎわうこと  
多くの客が入れ替わり立ち替わりやって来て、大いににぎわうこと。商売繁盛を表します。

Q17. 「一網打尽」の意味は？

- ① 一度に全部を捕らえてしまうこと
- ② 網を一枚だけ使うこと
- ③ 魚を一匹だけ逃がすこと

ヒント:一回網を打って、全部すくい取る様子です。

答え:① 一度に全部を捕らえてしまうこと  
一度の網ですべての魚を捕るように、悪人などを一度にまとめて捕らえることのとたとえです。

Q18. 「一進一退」の意味は？

- ① 一歩進んでは一歩下がり、よくなったり悪くなったりすること
- ② 一人ずつ前に進むこと
- ③ 一度進んだら戻らないこと

ヒント:「進む」と「退(しりぞ)く」をくり返します。

答え:① 一歩進んでは一歩下がり、よくなったり悪くなったりすること  
進んだり戻ったりして、なかなか決着がつかないこと。病状などにもよく使われます。

Q19. 「二束三文」の意味は？

- ① 数が多くても、ひどく安い値段であること
- ② 二束のねぎが三文で買えること
- ③ 三文小説が二束あること

ヒント:「束(たば)」で売っても、わずかなお金にしかならない…。

答え:① 数が多くても、ひどく安い値段であること  
数や量が多くても、値段がきわめて安いこと。投げ売りの捨て値を表します。

Q20. 「一刀両断」の意味は？

- ① 刀を一本だけ持つこと
- ② ためらわず、きっぱりと決断・処理すること
- ③ 刀を二つに折ること

ヒント:スパッと一太刀(ひとたち)で…という勢いです。

答え:② ためらわず、きっぱりと決断・処理すること  
一太刀で真っ二つにするように、ためらわずきっぱりと物事を決断・処理することです。

Q21. 「朝三暮四」の意味に近いのは？

- ① 朝は3時、夜は4時に起きること
- ② 目先の違いにこだわり、結局同じだと気づかないこと
- ③ 朝と夜で気温が変わること

ヒント:サルにトチの実を与えた、中国の昔話が由来です。

答え:② 目先の違いにこだわり、結局同じだと気づかないこと 目先の損得にとらわれ、結果は同じだと気づかないこと。サルに「朝3つ暮4つ」と言うと怒り、「朝4つ暮3つ」と言うと喜んだ故事から。

Q22. 「四面楚歌」の意味は？

- ① 四方から歌が聞こえる楽しい宴
- ② 周りが敵ばかりで、味方がいないこと
- ③ 四枚の歌のカード

ヒント:「楚(その歌)」が四方から聞こえてきた、という戦の故事です。

答え:② 周りが敵ばかりで、味方がいないこと 周囲がすべて敵で、孤立して助けがないこと。項羽が敵陣から故郷・楚の歌を聞き、味方が降伏したと悟った故事から。

Q23. 「臥薪嘗胆」の意味は？

- ① 薪を売って嘗(な)めるように暮らすこと
- ② 目的を果たすため、長く苦労を耐え忍ぶこと
- ③ 薪で胆(きも)を焼く料理

ヒント:かたい薪の上に寝て、苦い胆をなめた…という故事です。

答え:② 目的を果たすため、長く苦労を耐え忍ぶこと 目的を遂げるため、あえて苦しい思いを重ねて努力すること。復讐を誓い、薪に臥し苦い胆をなめた中国の故事から。

Q24. 「画竜点睛を欠く」とは、どんな意味？

- ① 竜の絵を描くのが下手なこと
- ② 肝心な最後の仕上げが足りないこと
- ③ 竜が空を飛ぶこと

ヒント:竜の絵に、最後「睛(ひとみ)」を描き入れる、という故事です。

答え:② 肝心な最後の仕上げが足りないこと

物事を仕上げる最後の大切なひと手間のこと。「欠く」と、肝心な仕上げが足りず不十分なことを表します。

Q25. 「ごりむちゅう」の正しい漢字は？

- ① 五里夢中
- ② 五里霧中
- ③ 五里無中

ヒント:深い「きり」の中で道に迷う、という意味です。

答え:② 五里霧中

正しくは「霧中」。深い霧の中のように、方針が立たず迷うこと。「夢中」と書き間違えやすい熟語です。

Q26. 「我田引水」の意味は？

- ① 自分の田にだけ水を引くように、都合よくふるまうこと
- ② 田んぼに水を引く農作業のこと
- ③ 水道の水を節約すること

ヒント:自分の「田」にばかり「水を引く」様子から。

答え:① 自分の田にだけ水を引くように、都合よくふるまうこと

自分の田にだけ水を引くように、物事を自分に都合よく言ったり行ったりすることです。

Q27. 「馬耳東風」の意味は？

- ① 馬が東を向いて走ること
- ② 人の意見や忠告を聞き流し、気にとめないこと
- ③ 東風(こち)に乗って旅すること

ヒント:馬の耳に、心地よい春風が吹いても…。

答え:② 人の意見や忠告を聞き流し、気にとめないこと

馬の耳に春風が吹いても感じないように、人の意見や忠告をまるで気にとめないこと。

Q28. 「呉越同舟」の意味は？

- ① 呉と越という二つの国の料理
- ② 仲の悪い者同士が、同じ場所に居合わせたり協力したりすること
- ③ 船を二そう並べること

ヒント:仲の悪い「呉」と「越」の人が、同じ舟に…。

答え:② 仲の悪い者同士が、同じ場所に居合わせたり協力したりすること 仲の悪い者同士が同じ場所に居合わせること、また共通の困難に協力すること。敵対する呉と越の人が同じ舟で嵐に遭った故事から。

Q29. 「換骨奪胎」の意味は？

- ① 骨折して入院すること
- ② 先人の作をもとに、独自に作り変えて新しく見せること
- ③ 骨格標本を作ること

ヒント:「骨を換え、胎(たい)を奪う」と書きます。

答え:② 先人の作をもとに、独自に作り変えて新しく見せること

古い詩文や作品をもとにしながら、自分なりに作り変えて新しく見せること。

Q30. 「一蓮托生」の意味は？

- ① 一本の蓮(はす)を育てること
- ② 最後まで行動や運命を共にすること
- ③ 一年に一度だけ会うこと

ヒント:仏教で、同じ蓮(はす)の花の上に生まれ変わる…という言葉から。

答え:② 最後まで行動や運命を共にすること よい結果も悪い結果も、最後まで行動や運命を共にすること。もとは極楽で同じ蓮の上に生まれる、という仏教語です。